

**製品名: TDP43 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM83012**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	44.7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TDP43
別名	ALS10; TDP-43
遺伝子 ID	23435.0
SwissProt ID	Q13148
免疫原	大腸菌で発現したヒト TDP43 (AA: 遊離ペプチド) の精製された組み換え断片。

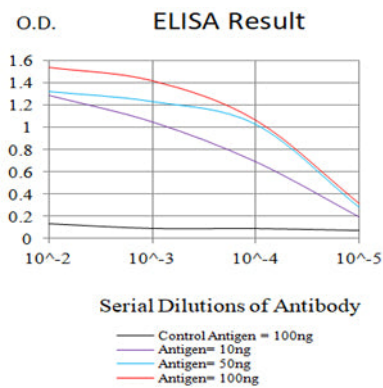
**背景**

後天性免疫不全症候群 (AIDS) の原因物質である HIV-1 は、複製サイクル中に染色体に組み込まれた DNA を生成する RNA ゲノムを含んでいます。転写活性化因子 Tat による HIV-1 遺伝子発現の活性化は、転写開始部位の下流に位置する RNA 調節エレメント

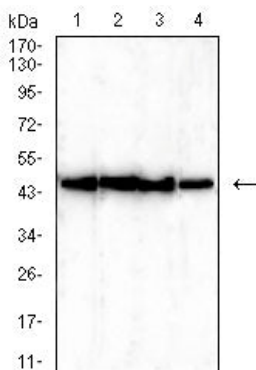
(TAR) に依存しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は転写抑制因子であり、染色体に組み込まれた TAR DNA に結合して HIV-1 の転写を抑制します。さらに、このタンパク質は CFTR 遺伝子の選択的スプライシングを制御します。同様の偽遺伝子が 20 番染色体上に存在します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

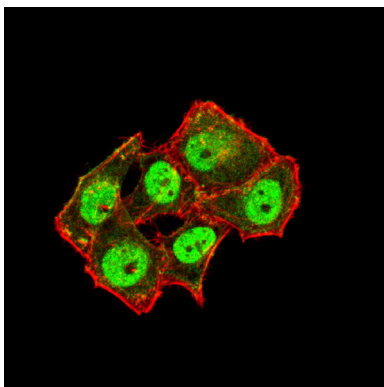
## 画像データ



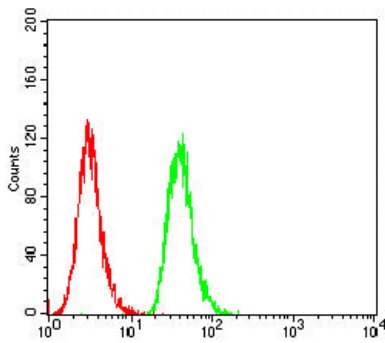
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



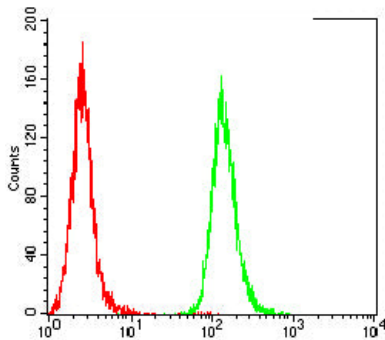
Hela (1) 、HEK293 (2) 、MCF-7 (3) 、および A549 (4) 細胞溶解物に対する TDP43 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



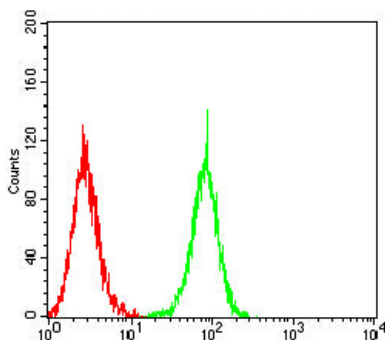
TDP43 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



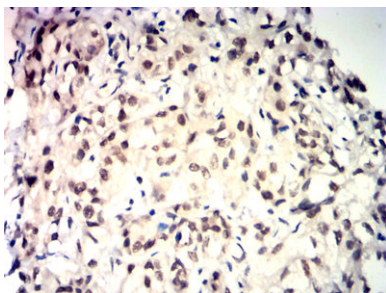
TDP43 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した A431 細胞のフローサイトメトリー分析。



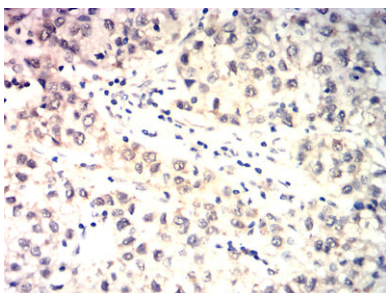
TDP43 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



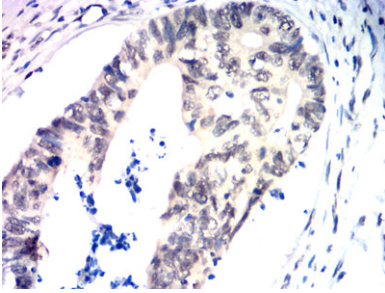
TDP43 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



TDP43 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト脱毛症組織の免疫組織化学分析。



TDP43 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。



TDP43 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。